

## 社会の勉強法

### 社会を学習するにあたって

私<sup>わたし</sup>たち人間<sup>にんげん</sup>は、一人<sup>ひとり</sup>では生き<sup>い</sup>られません。家族<sup>かぞく</sup>や学校<sup>がっこう</sup>、会社<sup>かいしゃ</sup>や国<sup>くに</sup>などのグループ<sup>ぐループ</sup>を作<sup>つく</sup>って、協<sup>きょうりやく</sup>力<sup>りき</sup>し合<sup>あ</sup>いながら生活<sup>せいかつ</sup>しています。社会科<sup>しゃかいが</sup>は、そのよう<sup>にんげん</sup>な人間<sup>にんげん</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>や活動<sup>かつどう</sup>、グループ<sup>ぐループ</sup>の特<sup>とく</sup>色<sup>しよく</sup>やし<sup>く</sup>みなどを学<sup>がく</sup>習<sup>しゆう</sup>します。この学<sup>がく</sup>習<sup>しゆう</sup>を通<sup>とお</sup>して、これからの日本<sup>にほん</sup>や世界<sup>せかい</sup>を作<sup>つく</sup>っていく力<sup>ちから</sup>を身<sup>み</sup>につけていくのが、社会科<sup>しゃかいが</sup>の目<sup>もく</sup>標<sup>ひょう</sup>です。

授<sup>じゆぎやう</sup>業<sup>ぎやう</sup>だけ<sup>だけ</sup>で学<sup>がく</sup>習<sup>しゆう</sup>するのではなく、新聞<sup>しんぶん</sup>やニュース<sup>にゅーす</sup>などで世界<sup>せかい</sup>や日本<sup>にほん</sup>の出来事<sup>できごと</sup>などをし<sup>し</sup>知り、興<sup>きゆう</sup>味<sup>み</sup>を持<sup>も</sup>つこともとても重<sup>じゆう</sup>要<sup>よう</sup>です。

### (1) 社会科の家庭学習で注意してほしいこと。

- 1 授業で学習したことを、その日のうちにしっかり復習しよう。

人間は学習した内容を24時間後には半分以上忘れます。しかし、その日のうちに復習すると忘れにくくなるので、学習した日に必ず復習しましょう。

- ・ノートや教科書を使って復習しましょう。
- ・必要に応じて地図帳や資料集なども見ておこう。

- 2 重要語句（教科書の太字や板書のカラーの部分）を覚えよう。

覚える方法はいろいろあります。人により向き不向きもあるので、自分に合った方法を見つけるために、いろいろ試してみましょう。

- ・テストブックの一问一答のページを使って。
- ・単語帳などに重要語句を書きこんで。
- ・まとめのノートを作って。

- 3 テストまでに、問題集やプリントは最低3回はやっておこう。

- ・時間のある時や週末を使って。
- ・間違えたところは再度、ノートや教科書を使って復習をしよう。

- 4 自主勉強として、社会の授業で学習したことをする場合、ノートを丸写しするのではなく、重要なことをまとめるなど工夫をしましょう。

### (2) 各分野の学習のポイント（公民は3年生で学習します）

- 地理** ・教科書やテレビ・新聞などで出てきた国名や地名を、地図帳で確認しよう。
- ・グラフや地図の見方を身につけよう。

- 歴史** ・出来事のつながりや関係を意識しながら学習しよう。
- ・年表を活用して学習しよう。

- 公民** ・難しい用語は、意味を理解しよう。
- ・時事問題（現在話題になっているもの、ニュース）を知ろう。